

渋川広域消防署東分署建設工事

現在の消防署東分署庁舎は、昭和49年に建設され、約半世紀にわたって市民の安心安全な暮らしを守ってきました。近年、老朽化が顕著となり、消防活動拠点としての機能低下が懸念されるため、現庁舎の敷地を拡張し、同敷地内において建替整備することとなりました。

工事期間中は、騒音や通行において、ご不便をお掛け致しますが、安全の確保に十分な対策を立てて進めて参りますので、皆さまのご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

新庁舎完成予想図



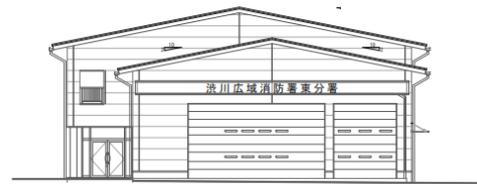
東立面



西立面



南立面



北立面

完成予想立面図

事業概要

- 工事名称 渋川広域消防署東分署建設工事
- 工事場所 渋川市赤城町上三原田468番地2
- 供用開始時期 令和7年(予定)
- 敷地面積 2,291.85平方メートル
- 構造・規模 消防庁舎 鉄骨造2階建て 延べ面積707.01平方メートル
- 主な特徴
 - ・ 消防自動車専用車庫の拡充(車庫内に防災用品庫、救急消毒室等の整備)
 - ・ 個室仮眠室の整備

施工業者

建築主体工事	シンワ産業 有限会社
機械設備工事	株式会社 木暮組
電気設備工事	JESCO SUGAYA株式会社
建設工事監理業務委託	株式会社 エムロード環境造形研究所

建設工事場所案内図(現消防署東分署敷地内)

